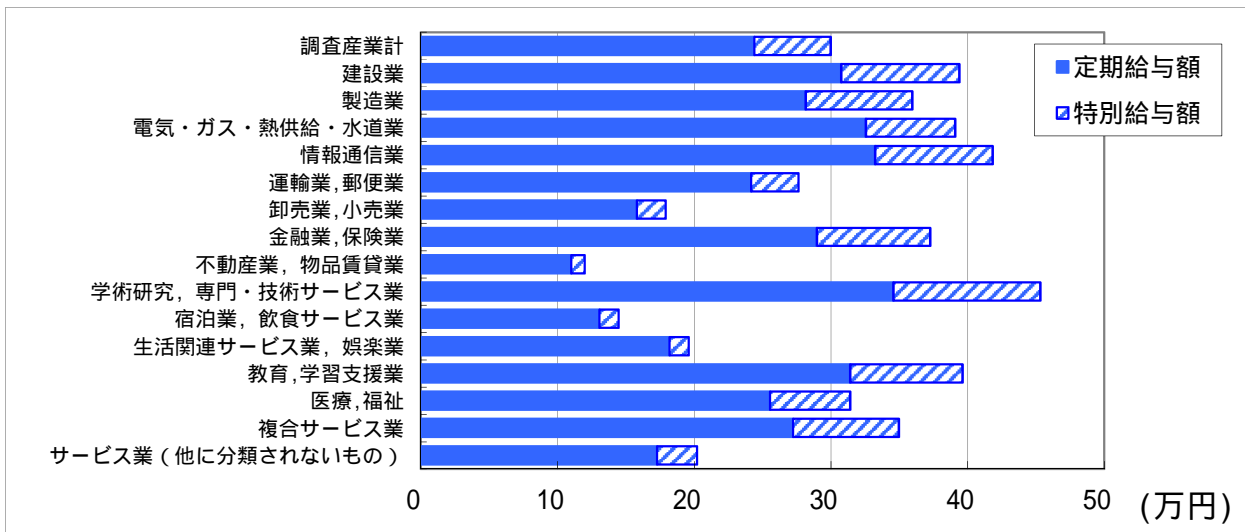


労働諸条件の概況

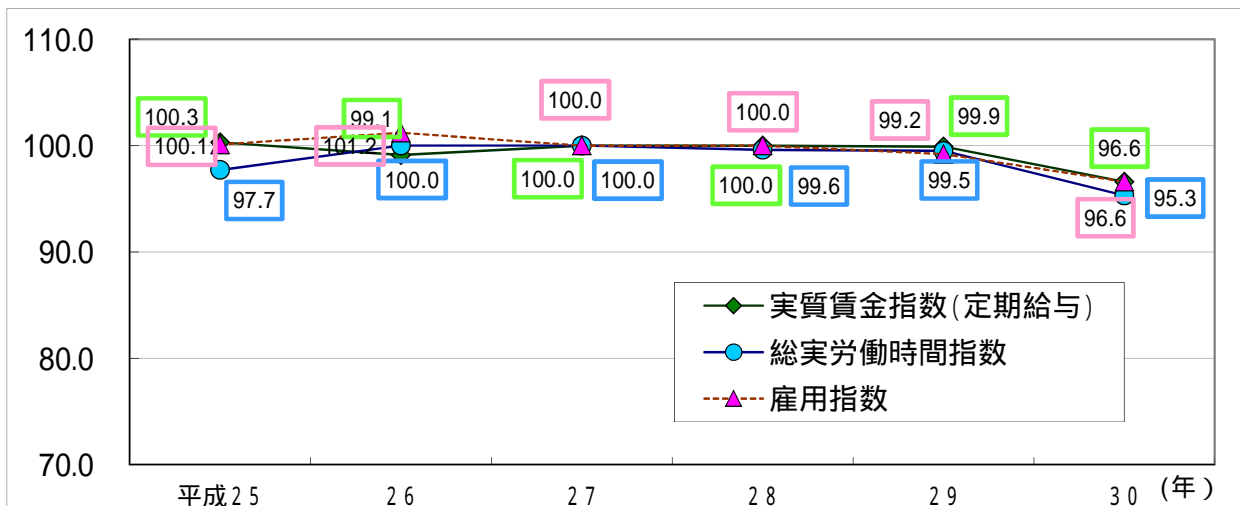
現金給与総額の産業別比較 (平成30年平均月額)

30人以上



注「鉱業, 採石業, 砂利採取業」は秘匿のため掲載していない。

指数の推移 (調査産業計・平成27年 = 100)



1 賃金

平成30年の一人平均月間現金給与総額は、調査産業計で299,838円となり、前年比は名目1.9%の減、実質は3.2%の減であった。

現金給与総額のうち、きまって支給する給与は244,043円で、前年比は名目2.0%の減、実質は3.3%の減であった。

2 労働時間及び出勤日数

平成30年の一人平均月間総実労働時間は、調査産業計で150.9時間となり、前年比は4.2%の減であった。このうち所定内労働時間は139.6時間で前年比は3.7%の減で、所定外労働時間は11.3時間で前年比は10.7%の減であった。

なお、一人平均月間出勤日数は19.4日で前年比0.4日の減であった。

3 常用雇用

常用労働者の調査産業計は224,774人であり、前年比は2.6%の減であった。

注) 指数は平成27年1月及び平成30年1月の抽出替えに伴うギャップ修正後の指数により算出しており、実数値から算出される増減率とは一致しない場合がある。